

# 令和3年度 学校評価シート

学校名： 和歌山県立箕島高等学校 学校長名： 森 文 哉

めざす学校像 育てたい生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの生徒を大切に、個性の伸長を図るとともに、豊かな人間性を身につけた生徒を育てる。</li> <li>けじめある生活態度を養い、何事にも意欲的に取り組む生徒を育てる。</li> <li>自主・自律の精神のもと、積極的に地域社会に参画する意識・意欲の高い生徒を育てる。</li> </ul>
-------------------	---

本年度の重点目標	1 基本的な生活習慣の確立とコンプライアンス意識の定着を図る
(学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	2 キャリア教育を推進し、生徒各人の進路実現を図る
	3 部活動及び自主活動の振興を図る
	4 地域コミュニティの中核を担い、地域社会とともに生徒を育てていく

中期的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>3S（整理・整頓・清掃）運動の更なる推進</li> <li>学校のICT環境の整備</li> <li>インターハイ上位入賞者数が増えるよう指導内容の工夫・改善を図る</li> <li>コミュニティスクールの活性化</li> <li>働き方改革の推進</li> </ul>
--------	--

学校評価の結果と改善方策の公表の方法	学校から発信する（箕高新聞やPTAだより等）を活用して、保護者に自己評価及び学校関係者評価の結果を知らせるとともに、インターネットのホームページでも公表する。
--------------------	---

達成度	A	十分に達成した。(80%以上)
	B	概ね達成した。(60%以上)
	C	あまり十分でない。(40%以上)
	D	不十分である。(40%未満)

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。  
 4 年度評価は、年度末（3月）に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自 己 評 価					学 校 評 価 ( 3 月 1 日 現 在 )		
重 点 目 標					評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 方 策
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 取 組	評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 方 策
重点目標 1	生活指導部の身だしなみ指導等での声かけや教育相談係等の丁寧な対応により、学校が落ち着いてきている。今後も基本的な生活習慣の確立とともに、3+1ない運動やSNS等利用の正しい知識など、社会人となるためのコンプライアンス意識を定着させる取組を推進する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活の中で自他ともに大切にする行動をとれているか。</li> <li>校内外で適切な身だしなみができているか。</li> <li>駅や街頭での行動や自転車乗車等のマナーが守られているか。</li> <li>SNS等の適切な使用ができてきているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻生徒への適切な指導を行う</li> <li>定期的な服装髪等の点検実施</li> <li>定期的な街頭等における指導の充実</li> <li>SNS等の適切な使用方法に係る啓発活動の充実</li> <li>学年アセンブリーの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻カードや個別指導を通じ、遅刻防止につなげる</li> <li>身だしなみ指導の充実</li> <li>自転車安全運転街頭指導等の充実</li> <li>定期的な列車指導</li> <li>SNS等に係るマナー指導の充実</li> <li>定期的なアセンブリーの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻を繰り返す生徒に特別指導（授業出席指導）を行うことにより改善が見られた。</li> <li>列車、自転車等の登下校時のマナー指導については継続した取組が必要である。</li> <li>SNS等情報モラル向上について、対策講座やアセンブリーで啓発しているが、ネットパトロール等とともに今後も粘り強い指導が必要である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体としては落ち着いた状況にはあるが、引き続き基本的な生活習慣の確立と通学マナーの向上、SNS等の情報モラルの構築に向けて取組を続けていく。特に校内外の巡視、登下校時の巡回指導を徹底する。</li> <li>学年主導のアセンブリー開催を積極的に計画していく。</li> </ul>
重点目標 2	基礎基本を大切にしながら確かな学力を根底に、生徒自らが主体的に学習に取り組む態度を身につけ、進路実現につなげるため、校内研修会の開催など、従前以上の組織的な取組を推進していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に応じた学習内容で、より効果的な学習指導を行うための取組を進めているか。</li> <li>望ましい勤労観と職業観を育成するキャリア教育の推進が図られているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業規律の確立</li> <li>研究授業や公開授業の積極的な実施</li> <li>キャリア教育において「箕島高校つたて力18」の実践</li> <li>地域の企業との連携</li> <li>高い就職内定率の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>始業チャイムと同時に授業開始の実現</li> <li>定期的な公開授業の実施</li> <li>インターンシップの充実及びキャリアノートの効果的活用</li> <li>外部人材の活用回数の確保</li> <li>就職内定率100%の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業規律の改善が見られるが、個人による意識の差は依然残る。</li> <li>公開授業は例年通りに開催した。</li> <li>インターンシップの代替案として職業理解能力の育成に取り組んだ。</li> <li>県、校友会等と連携し企業説明会等を開催した。</li> <li>学校紹介による就職希望者内定は、100%を達成した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>規律意識の向上を図るため、定期的に指導、啓発を続ける。</li> <li>生徒1人1台パソコンの導入に伴いICT活用の幅を広げていけるよう職員への啓発に努める。</li> <li>進路選択に消極的な生徒に対する手立てとしてガイダンス他の実施方法を再考し、生徒が適切な目標を定め進路決定への意欲を高められるよう指導を重ねていきたい。</li> </ul>
重点目標 3	毎年、全国高校総体や近畿大会に多くの生徒が出場している。この実績を生かして、より高いレベルの目標に向け、文武両立を図ることが大切である。さらに生徒会を軸に文化祭等の行事や校内美化活動をより充実した取組にしていく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技力向上とともに活動の深化があるか。</li> <li>行事等は生徒会が中心となり企画運営し、クラス全体で取り組んでいるか。</li> <li>3S（整理・整頓・清掃）運動を徹底しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会やコンクール等における成果の充実</li> <li>効果的な練習方法や強化宿舎等への積極的な参加</li> <li>学校行事、委員会等における生徒主体のスムーズな運営の充実</li> <li>教室等の学習環境のための整理整頓の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近畿・全国大会等への出場者数及び上位入賞者数の増加</li> <li>競技力向上のための講演会や講習会の開催</li> <li>生徒会活動や委員会活動の定期的な開催</li> <li>3Sパトロールの定期的な実施(校内の整理整頓、美化活動等の徹底)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国高校総体には、相撲・柔道・空手道・男子ソフトボールの4競技が出場し相撲部は上位入賞を果たした。また、これら4競技は近畿大会でも上位入賞を果たした。</li> <li>体育大会、文化祭、遠足などはやり方を工夫しながら実施した。</li> <li>3S運動の定着が進み、校内の環境は整えられている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も部活動や学校行事が、コロナに大きく左右された。</li> <li>次年度こそは、コロナに関係なく各種大会、発表会等が開催されることを願うとともに、「チーム箕島」としての特色を十分発揮し、更なる活躍を期する。</li> </ul>
重点目標 4	有田市の地域コミュニティの中核を担い、情報の提供、発信を行っている。今後もきのくにコミュニティスクールとして地域とともに成長し、様々な課題を解決できるような学校づくりをする必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有田市をはじめ地域の諸団体との交流をどれくらいできるか。</li> <li>学校運営協議会で学校運営充実のための適切な意見交換が行われたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒や教職員の地域の活動への参加</li> <li>有田市役所（地方創生）と連携して様々なプロジェクトへの運営協力及び地域活性化への貢献</li> <li>地域との交流を積極的に進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動への参加回数の確保</li> <li>課題研究授業での実践発表や成果の充実</li> <li>地域の小学校・中学校との交流や合同事業の実施</li> <li>地域への情報発信の回数確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の影響でイベントや発表会は、これまで積み上げてきた活動の縮小を余儀なくされた。</li> <li>機械科課題研究班は市内港小学校へ朝礼台を寄贈した。</li> <li>情報経営科商品開発班主催の「箕高カフェ」を開催し、地域の方に好評をいただいた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械科、情報経営科における課題研究発表会及び1、2年生による校内プレゼン大会の開催等新たな生徒たちの発表の場が確立できた。</li> <li>「地域とともにある箕島高校」を目指し、コロナ禍の影響により制限された活動を、次年度は一つでも多く実施したい。</li> </ul>

学 校 関 係 者 評 価	
令和4年3月22日 実施	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
○	コロナ禍で学校行事にも影響がある中で、生徒の安全を考えて、様々な工夫をこらしていると思う。重点4目標について、全体的に成果ある取組をしていると評価する。
○	探求の授業で、SDGsを取り上げ、立派に発表している姿には感心させられた。アンケートで「ねらい」を達成できたと答えた生徒も多く、更に充実させることで、生徒の自己肯定感も伸びていくと期待している。
○	学校に行くと生徒から挨拶や会釈をしてくれて気持ちよくなるので、今後も続けていってほしい。
○	登下校の徒歩・自転車等の並進を改善するとより安全になり、事故の心配軽減が期待される。
○	今後のデジタル社会におけるコンプライアンス意識・モラルの向上は必須で、より効果的な指導方法や時間をかけた教育の必要性を感じる。
○	箕島高校の強みである活発な部活動等において各種大会で優秀な成績を上げ続けていることは素晴らしい、更に伸ばして欲しい。
○	HPにたくさんの情報が頻りに更新されていて、とても充実している。県立高校の再編整備がはじまる中、今後も地域の高校として、特色を出しながら進んで欲しい。
○	課題研究や探求の授業は、生徒が不確実な社会を主体的に生き抜くために不可欠な視点、思考を学ぶことが出来る貴重な機会だと思う。常に箕島高校と当大学（摂南大学）との連携をと考えており、課題研究・探求の実施に当たり、大学生や大学教員にお手伝いできることがあれば協力する。